

KISC

公益財団法人 かがしま産業支援センター
Kagoshima Industry Support Center

創業や研究開発に
取り組むあなたを応援します

冬号
2013



株式会社 井川産業

代表取締役 井川 清隆

<企業概要>

所在地 薩摩郡さつま町田原 2271-1

設立 昭和 57 年 9 月

従業員数 56 名

TEL : 0996-52-2380

FAX : 0996-52-3760

E-mail : t-igawa@igawas.co.jp

シラフアイン
『知事賞』(一般部門)

第60回鹿児島県発明くふう展

今号の表紙



製造風景

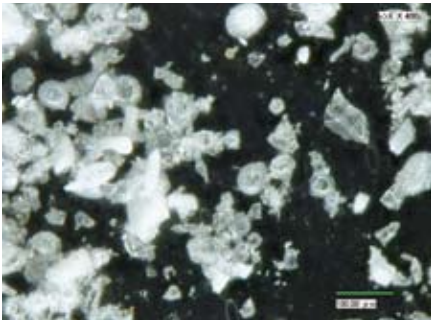
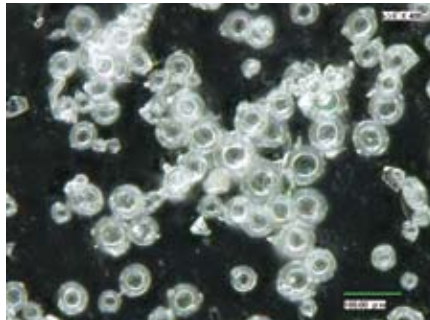
今号の表紙は、『第60回鹿児島県発明くふう展』の一般部門で「鹿児島県知事賞」を受賞された「株式会社井川産業」代表取締役の井川清隆さんです。

同社は、自動車プラグの部品加工や装置メンテナンスを主にしていますが、「もうひとつの柱」の必要性を考え、地域資源のシラス素材を活用した新規事業に組み込みました。

鹿児島県工業技術センターと共同研究を重ね、ハイテク素材に加工した「シラフアイン」を開発し、平成23年6月に事業化しました。

「シラフアイン」は従来製品に比較して、粒子径が平均20μm未満と小さく、白色で粒度分布がシャープ(粒径が揃っている)である点が評価され、化粧品メーカーから採用されています。

マイクロスコップ写真

従来シラスバルーン
(倍率：×400)高強度・高真球度シラスバルーン
(倍率：×400)

また、(公財)かごしま産業支援センターの今年度の研究開発助成事業(真球ビーズ及びカラービーズ製造技術の開発)にも採択されました。

今後は化粧品以外の自動車業界での活用や、更に付加価値を高めた製品の開発も視野に、鹿児島特有の素材を商品化する、地域に根差したもののづくり企業として、大いに期待されます。

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 経営全般の総合相談と専門家派遣
- 6 わが社の輝く女性！《濱崎 美香さん》
- 7 がんばる進出企業 (株)ユー・エム・アイ
- 8 ペンチャープラザコーナー
- 10 海外取引情報コーナー
- 12 IT情報コーナー
- 14 Information 鹿児島県トライアル発注制度
- 15 “ 平成25年度かごしま産業支援センター助成事業募集概要
- 16 “ かごしま取引商談会を開催ほか

鹿児島県発明くふう展は発明考案等の作品を広く県民から募集し、優秀な作品を表彰するとともに、その作品を一般公開することにより、県民の発心の奨励と発明考案等に対する関心を深め、創意工夫の高揚を図り、本県の産業振興と県民生活の向上に資することを目的として開催されています。

鹿児島メガソーラー発電株式会社

代表取締役社長 ^{まえだ} 前田 ^{たつみ} 辰巳

プロフィール

佐賀県出身

1975年 京都工芸繊維大学卒業後

京都セラミック株式会社（現京セラ株式会社）入社
自動車部品事業部長、部品研究開発本部本部長、
ソーラーエネルギー事業本部長（現在）等を歴任

2009年4月 代表取締役副社長兼執行役員副社長
（現在）

2012年7月 鹿児島メガソーラー発電株式会社
代表取締役社長（現在）



私の 思い

鹿児島県鹿児島市七ツ島・

2012年、ソーラーエネルギー業界で最も注目を集め、有名になった地域ではないかと思っています。

この鹿児島市の南部、桜島から見て南西部に位置する錦江湾に突出した四角形の埋め立て地、七ツ島地区において、京セラを中心に設立した特別目的会社により、国内最大級70MWの太陽光発電所建設が進められています。

面積127万㎡、東京ドーム27個がすっぽり入る広大な土地を(株)IHI様からお借りし、昨年9月に工事開始、年末の12月20日には1枚目の太陽電池が設置されました。これから本年秋の竣工に向けて、約29万枚の太陽電池が設置されます。完成すると、年間発電能力約8万MWh、一般の住宅約2万2千戸分の電力を賄うことができる、まさに国内はもとより海外からも注目を集める壮大なプロジェクトです。

京セラは、創業者で現在名誉会長である稲盛和夫が、1973年の第1次オイルショックを受け、日本にも石油に頼らない国産エネルギーが必要であり、しかもクリーンで、誰

もが平等に享受できる無限の太陽エネルギーを利用する事業を立ち上げなければならぬ、との思いから1975年に他社に先駆けソーラー事業を開始いたしました。しかし、その後も市場はなかなか育たず、また1990年前後には石油の需給も緩和したこともあり、新規参入した企業や大企業でも撤退などが相次ぎ、世界全体がソーラーエネルギーに対する興味を失う時期がありました。そのような中でも、京セラは事業の火を絶やすことなく、「太陽エネルギーの利用を通じて、人々の幸せに貢献する」という大義のもと、営々と事業を継続し、現在でもこの思いはソーラー事業に携わる社員全員に脈々と受け継がれています。

今回の、「鹿児島メガソーラー発電事業」は、京セラとしても、まさに太陽エネルギーの利用を通じて、世の為、人の為に役立つ事業を具現化することができる、大切なプロジェクトであると考えています。

事業の計画にあたっては、京セラの思いにご賛同いただき、鹿児島県や鹿児島市のバックアップのもと、関係企業の皆様にご支援を賜り、ま

た、現在進んでいる工事では、多くの地元企業の皆様にご活躍いただいております。心から感謝申し上げます。

最後になりますが、ここ南国薩摩の地は、若き獅子が新しい時代の幕開けを目指し決起した土地です。私たちも、ここ鹿児島から、地球環境を保護しつつ、持続可能な発展を導くという、再生可能エネルギー利用について積極的に情報発信すること、ソーラー時代の新たな幕開けを担っていきたくと考えています。

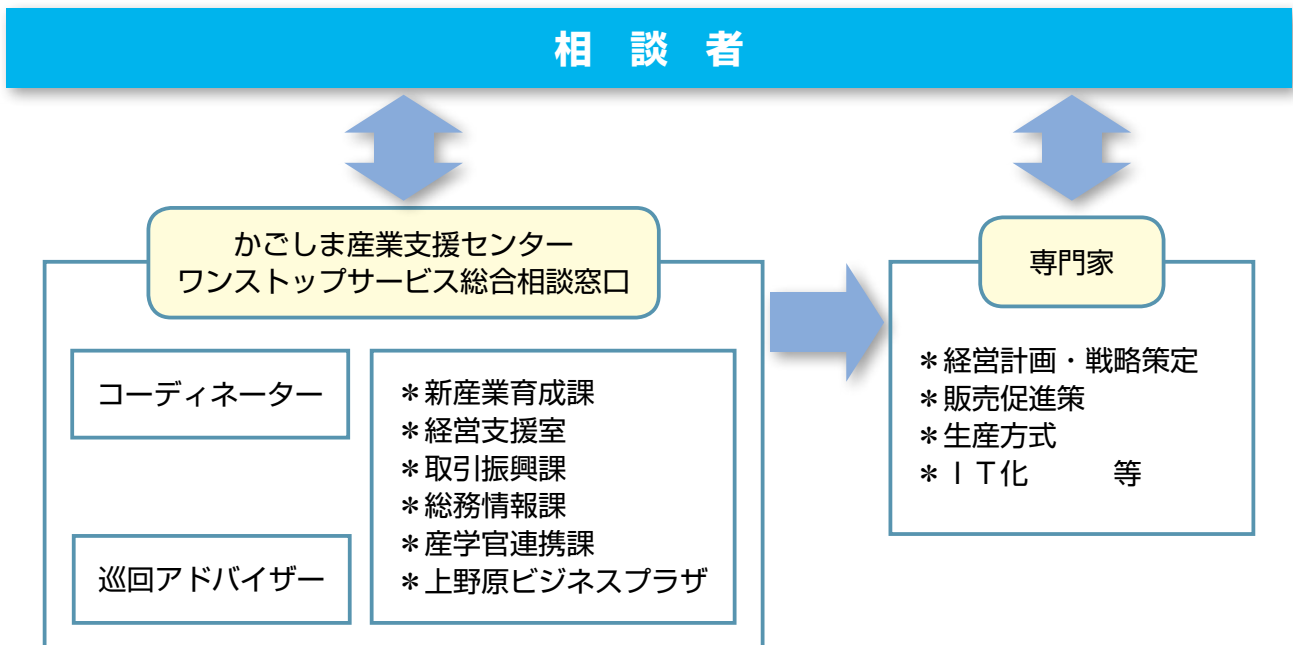


総合相談と専門家派遣

※ 「かごしま産業支援センター」では、ワンストップサービスの総合相談窓口（新産業育成課・経営支援室をはじめ各部門）を整備し、職員・コーディネーター・巡回アドバイザーが、創業・研究開発・販路開拓・取引適正化・海外展開・産学官連携・IT化・人材育成などの相談に対応しています。

※ その中で複雑・高度専門的な相談については、内容に応じた専門家を派遣して経営課題の解決をアドバイスしています。

【相談対応の流れ】



【専門家の派遣】

○ 専門家派遣事業（かごしま産業支援センターの事業）

※ 事業概要

→ 民間の専門家を1企業1テーマ10回／年程度派遣

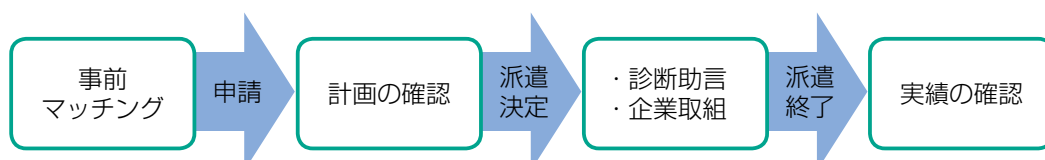
※ 企業の経費負担

→ 派遣費用（謝金＋旅費）×派遣回数×1／3（2／3は当センターが負担）
・ 謝金：5万円／回（5時間程度）、旅費：センター規程により算出

※ 事前マッチング

→ 派遣前に専門家との意見交換を行います。（企業の現状・課題の把握、企業と専門家の相性確認、専門家派遣事業での取組テーマ設定など）

※ 派遣の流れ



※ 派遣実績

→ 累計 106 社・879 回 (H12～23)

【H22以降の主なもの】

企 業 名	派 遣 テ ー マ
豊瑛電研(株) (薩摩川内市)	ムダ排除による工場の生産性向上
(有)菓子処渡辺 (中種子町)	地場食材を活用した新商品の開発, 効果的な販売促進活動による売上・利益率の向上
おおすみ食品(株) (鹿屋市)	効率的に生産・販売予測を行うためのシステム構築案や作業マニュアルの作成
(株)三木屋 (霧島市)	ネットショップの有効活用による売上の拡大
南海食品(株) (鹿児島市)	品質の安定・向上を目的とした社内体制・仕組みの構築
(株)鹿児島北斗製作所 (鹿児島市)	段取替えの改善や不良の低減活動による工場の生産性向上
アネット(有) (鹿屋市)	原価管理と収益管理手法の構築による経営革新の推進
(資) 弥生焼酎醸造所 (奄美市)	中長期経営目標の設定とそれを達成するための経営戦略の構築・実施

※ ご利用になった企業の声

- 今まで多くの研修, 指導を受けたが当社にぴったり合った助言だったので社員全員が素直に受け入れることができ, 在庫金額を 17%低減, 粗利益率を 4%向上, 加工・切断の段取時間を 180 分 / 日削減することができた。【金属製品製造業】
- 地場食材を活用した新商品の開発, イベントの企画立案・広告チラシの見直し, 販売促進活動の年間スケジュールの策定などマーケティングに関する助言を受けました。派遣経費 (謝金+旅費) の 2 / 3 をかごしま産業支援センターに補助していただき, 少ない企業負担で助言が受けられたことも良かったと思います。【菓子製造業】
- 将来の販売に対して適正生産を可能とする I T システムを導入することで経営の効率化を図りたいと考え, 専門家からの助言を受けました。
数百品目に及ぶ製品を適時に小ロット生産するための計画作成に多大な時間を要していましたが, 専門家との意見交換を通じてシステムの選定や自社に応じた機能設計などを行い, 生産計画を短時間で処理できるシステムが実現しました。【食料品製造業】



<お問い合わせ先>

公益財団法人かごしま産業支援センター 新産業育成課 経営支援室

Tel : 099-219-1273 FAX : 099-219-1279 e-mail : keiei@kric.or.jp

わが社の輝く女性！

今号は、腕時計ムーブメント部品の製造を主に鹿児島の地でシチズングループの中核部品生産拠点となっている シチズン時計鹿児島㈱管理課長の濱崎 美香さんです。

シチズン時計鹿児島株式会社

所在地 日置市東市来町湯田 5839
 設立 平成3年7月
 従業員数 340名
 TEL 099-274-0676
 FAX 099-274-6676
 URL <http://kawa.citizen.co.jp/kagoshima/>

濱崎 美香 管理課長 プロフィール

1971年 生まれ
 星座 うお座
 鹿児島女子短期大学卒業後、入社。
 鹿児島女子短期大学卒業後、入社。
 現在、三つ子の子育て中で（11歳、
 女の子3人）、双方の両親に応援し
 てもらい、仕事と家庭の両立に奮
 闘中。



◆現在の担当部署は

管理課の業務は、製造への生産数提示（計画）から客先への納品業務、社内購入部材等の購買業務（発注、納品、支払）、社内システム作成、改修、メンテナンス等々幅広いものです。

お客様（外部）、製造部門（内部）との調整役の役割を担うとともに、課全体の運用、監視、人材育成に取り組んでおります。

◆入社動機は

会社設立時に、従業員募集があり、県外からの誘致企業で将来性もあり、また、自宅通勤も可能であったため応募しました。

◆仕事上での印象深い体験談など

入社時は工場も建っておらず、親会社への実習時には本当に大丈夫かな？と思いながら飛行機に乗った記憶があります。

工場1棟から始まり、現在4棟設立までの21年間は長いようであつという間でした。入社当時は経理、総務、人事などを任せられ、わからない事だらけで無我夢中でした。

失敗もたくさんありました。特に印象深い失敗は、当時担当していた製造部門で会社のメインとなる部品で不良が発生し、不良処理や原因対応に毎晩遅くまで残っていた事です。当時としてはかなりの不良数で、会社に大きな損害を出してしまいました。

したが、社員一丸となり対応した事で、危機を脱する事ができた時は、うれしくてたまりませんでした。

失敗談ではありますが、仲間と一緒に壁を乗り越える喜びも感じられました。

◆女性管理職として心がけていることは

現状に満足することなく、目指す姿が少しづつでも高くなるように心がけております。

現状維持は衰退とよく言われますので、日々向上していける職場づくりを目指しています。

◆「ものづくり」について

お客様のニーズに応えられる、社内「ものづくり」の革新を2年前より実施しております。

現在、在庫はもたないをモットーに「必要な時に必要なもの」を作れる製造力を目指して、日々革新中です。



課内での打合せ

◆後輩社員へ期待することは

視野を広げていろんな事にチャレンジしてほしいです。がむしゃらに仕事をこなすことも大事ですが、達成感を味わいながら時にはゆとりも必要かなと思います。

◆会社への思いや抱負は

自分の成長が会社の成長へつながるように取り組んでいきたいです。今後は後継者育成にも力を注ぎたいです。

◆趣味や尊敬する人物は

体を動かす事が好きで、バトミントンやミニバレーをしていました。今後は、老化防止？も兼ねて何かスポーツを始めてリフレッシュしたいですね。

母は、私より活動的で2回目の青春を謳歌しています。母のように年を取っていききたいです。

◆上司の方から



萱沼センター長

我が社の管理職第一号の濱崎さんは、仕事をきばきとこなし、同僚や後輩の面倒見も良く、皆から信頼の厚い社員です。

今後益々の活躍が期待されます。

がんばる進出企業

株式会社ユー・エム・アイ

会社概要

株式会社ユー・エム・アイは、1971年に合成樹脂・工業用ゴムの部品加工販売を目的に、京都府宇治市において植村商会として創業いたしました。1980年に植村工業株式会社として法人設立、1996年に現社名の株式会社ユー・エム・アイに社名変更し、2006年に京都府久世郡御山町に本社・工場を新築移転いたしました。

鹿児島においては、2006年4月



株式会社ユー・エム・アイ 西日本支社・九州工場外観

に九州地区の営業拠点として日置市（旧伊集院町）に「九州出張所」を開設し、2012年4月には同市清藤工業団地内に営業・生産部門の新たな拠点として「西日本支社・九州工場」を新設したところであります。

現在、本社・工場（京都府）、東日本支社（山梨）、西日本支社・九州工場、松山営業所（愛媛）の4拠点のもとで、全国250社以上のお客様とお取引をいただいております。

業として、樹脂・アルミ・チタン及び工業用ゴムなどの素材を切削加工し、半導体、電機・電子分野をはじめ、食品、医療など、あらゆる分野の精密機械部品の製造を行っています。

特に、樹脂の中でも耐熱性や耐摩耗性等の強度に優れ、金属やセラミックの代替として、製品の小型化やコストダウンに広く貢献する反面、高硬度なため加工が難しい「エンジニアリングプラスチック」「スーパーエンジニアリングプラスチック」と称される素材や、シリコンゴムや工業用ゴム等、切削加工が困難な素材の超精密加工において独自のノウハウを有しており、高度化・微細化するニーズに対応する技術と最新鋭機器による万全の生産体制を敷

いております。

鹿児島進出の理由

将来的には第2の生産拠点として工場建設の計画も視野に入れておりましたところ、2011年の東日本大震災の発生を契機に、自然災害等のリスク対策として工場建設を前倒しし、製造拠点の分散化を決定いたしました。



工場内観

建設候補地を検討する中で、本社所在地以外の拠点を考えた時、弊社4番目の拠点として、ご縁があつて日置市伊集院町に九州出張所を開設しており、業績も順調に推移していたこと、鹿児島県及び日置市ともに企業誘致について、行政として熱心に相談に乗っていただき、立地企業の支援体制が充実していたこと等が

決め手となり工場新設に至ったものです。

今後の展望

今後は、本社・工場、西日本支社・九州工場の2か所の生産拠点と各営業拠点を機動的に活用し、多様化するユーザーニーズに的確に対応するとともに、お取引をいただいているお客様への持続的供給責任を果たし、さらなる事業の拡大発展に努めてまいります。

結果として、地域における就業創出や地域経済の発展の一助になれますよう役員・社員一丸となって事業活動に邁進いたします。

代表者：代表取締役社長 植村 浩典

設立：1980年10月1日

資本金：5,000万円

従業員数：131名

（うち九州工場21名）

【本社】京都府久世郡御山町高黒1-6

TEL.0774-44-5151 FAX.0774-44-5172

【九州工場】鹿児島県日置市伊集院町清藤2110-35

TEL.099-246-5066 FAX.099-246-5061

URL：http://www.umi-inc.co.jp



ベンチャープラザ

コーナー

第55回ベンチャープラザ鹿児島

「二水会」

第55回のベンチャープラザ鹿児島「二水会」を、平成24年11月14日（水）に鹿児島市において開催し、県内の2社と県外の1社にビジネスプランを発表していただきました。

発表企業と内容

企業	発表目的・内容
農業生産法人 有限会社 十津川農場 (南大隅町)	販路拡大 鹿児島県産びわ 葉100%使用 ねじめびわ茶の ご紹介
有限会社 大瀬商店 (鹿児島市)	販路拡大 本場大島紬を使 用した新商品の ご案内

ねじめびわ茶の販売によって地域振興にも貢献している十津川農場と、新しい感性で本場大島紬の新市場開拓を図る大瀬商店の発表

に、百名余りの参加者も熱心に耳を傾けていました。

これまでの二水会での発表企業は、県内133社、県外48社の181社（延）となりました。

農業生産法人
有限会社 十津川農場

代表取締役 玉置 博祥
肝属郡南大隅町根占横別府 487-1
TEL : 0994-24-5531
FAX : 0994-24-5532
E-mail : totsukawa@po3.
synapse.ne.jp
<http://www.totsukawa.co.jp/>



発表する玉置社長

発表内容

〈企業紹介〉

平成11年10月、農業生産法人有限会社十津川農場を設立、翌年より大隅半島の南大隅町根占にて「ねじめびわ茶」の製造を始めました。

〈開発のきっかけと現在の取組み〉

21世紀を迎えるに当たり、カフェインを含まない、子どもさんや妊婦さん、ご年配の方、ご家族の皆さんが安心して飲めるお茶を作ろうと考えました。

鹿児島県産のびわ葉のみを原料にし、天日乾燥やトルマリン石との高温焙煎（350℃）など製造方法にもこだわり、製法特許（第3452351号）を取得。

現在は、メーカーとして代理店を通し、全国の量販店や小売店へ、また福岡の通販事業部から個人のお客様に販売しています。鹿児島県特産品協会からご紹介いただく全国の百貨店での鹿児島物産展へも出展し、直にお客様に商品アピールの機会を



ねじめびわ茶

いただき、今後も販促活動の主軸として積極的に参加させていただこうと思っています。

〈商品の紹介〉

愛飲して下さるお客様からさまざまな健康効果についてのお声をいただき、平成18年より鹿児島大学農学部で動物実験等により「ねじめびわ茶」の健康効果を研究していただいています。昨年は、鹿児島大学との共同研究の結果「びわ葉抽出物を含む飲食品および医薬品」という内容で癌細胞増殖抑制剤及び癌細胞アポトーシス誘導剤で特許（第4974116号）を取得しました。また、ねじめびわ茶を主原料に、さつまいもの皮や規格外野菜を利用



生物発育促進剤T-1

し、生物発育促進剤T-1の製造にも取り組んでおります。これは、自然素材を原料とした飼料添加剤で養殖魚や畜産で使っていたとき、化学薬品や抗生剤の使用を減らすことを目標に開発したものです。

今後の展望

元来びわは、薬効性の高い植物であり、漢方や民間療法でも使われており、古くはお釈迦様の文献にも載っているそうです。今後もさらなる研究を続け、世の為、人の為になるような商品作りを行っていく所存です。

有限会社大瀬商店

代表取締役 大瀬 博子
鹿児島市荒田 1-27-16
TEL : 099-254-3275
FAX : 099-254-3264
E-mail : shop@oose.biz
http://www.oose.biz



発表する大瀬輝也氏

発表内容

〈企業紹介〉

当社は、昭和5年に鹿児島市で創業、昭和42年に法人化し、本場大島紬や和雑貨の製造販売、

婦人アパレル事業などを行っています。

〈開発のきっかけと現在の取組み〉

鹿児島県の代表的な伝統工芸品でもある大島紬の灯を絶やさないためには「新しい市場を創造しうる製品開発」「新しいお客様創出の環境整備」「後継者育成・技術保持」が急務と考え、新たな事業に取り組みました。

〈商品の紹介〉

①本場大島紬シール

大島紬の露出度アップのために開発した、「切って貼る」という簡単な作業で「オリジナル大島紬グッズ」を簡単に製作できる商品です。オリジナルデザインのTシャツを作ったり、携帯電話をカスタマイズするなど、「自分だけのオリジナル大島紬グッズ」が完成します。



②本場大島紬照明器具

インテリア商材として、「餅灯ーKASURBIー」をシリーズ化しました。中でも、天璋院篤姫をイメージした商品「駕籠ーKAGOー」は平成24年度の県特産品コンクールで「特

産品協会会長賞」を受賞しました。高級インテリア照明器具として旅館・ホテル向



③本場大島紬ジーンズ

洋装化へ対応するために、オーダーによるデニムとのコラボを模索し、大島紬ジーンズが誕生しました。濡れても縮まないで自宅でも洗濯でき、クセのまま縫製しなおすことで履き心地が変わらない、世界に一つだけのオリジナル大島紬ジーンズです。



発表後の成果・感想

多くの方に大島紬に改めて注目してもらい、今後の事業展開について様々なアドバイスを、激励をいただき

ました。

今後の展望

新しい市場を作るには、新しい分野への商品開発が必要であると考え、和装という狭い枠から抜け出して本場大島紬が鹿児島の日常で普通に目にする機会が増えていくよう、異業種の皆様からも様々なご提案・ご指導を受けて事業を展開していきたいと思っています。

平成23年5月11日の第49回二水会で発表した株式会社アマミファッション研究所(奄美市)が、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(スーパ)主催の第5回九州環境ビジネス大賞奨励賞を受賞しました。ますますの発展を期待しています。

次回の二水会のご案内

日時：平成25年2月13日(水)15時～
場所：鹿児島県東急イン
(鹿児島市中央町5-1)

海外情報

「最新中国事情」

三菱商事(株)企画業務部

池田 敦



三菱商事

企画業務部渉外企画チーム 部長代理
いけ だ 敦

プロフィール

昭和42年 東京生まれ
早稲田大学法学部卒
平成4年三菱商事入社
海外業務第二部中国チーム配属、
本店業務部(主に中国関連業務に従事)、
北京駐在、九州支社勤務を経て、
平成22年から本社企画業務部で
主に中国関連の渉外業務に従事

【はじめに】

2012年の日中関係は、9月の日本政府による尖閣諸島国有化に端を発した反日デモなど、1972年の日中国交正常化以降の40年間で最も悪と言われるまでに悪化しました。



街頭報道映像 (習近平総書記)

近年、順調に拡大してきた日中経済関係も転換点を迎え、日本からの対中直接投資も2012年は一転して大幅減となりました。一方で日中貿易については自動車の輸出など一部の品目を除いて思ったほどの影響は出ておらず、経済分野での日中相互依存関係が一層明らかになった面もあります。中国では2012年11月の中国共産党大会にて習近平総書記を首班とする新指導部が選出されま

した。日本でも12月の衆議院総選挙で自民党が再び与党に返り咲き、2013年は日中共に新体制の下で、両国の政治・外交関係が安定し、経済関係が再び活発化することが望まれます。

【日中関係悪化のビジネスへの影響】

日本の対中ビジネスへの影響は、自動車販売台数が昨年9～10月に概ね半減しましたが、化粧品、紙おむつ、粉ミルクなど中国の消費者から信任を得ている業界は大きな落ち込みは無い状況です。対中投資についても新規・拡張共に日中関係の状況を見守っている状態ですが、今のところ投資計画の変更や中国からの撤退という話は殆ど耳にしません。総じて言うと日中関係悪化のビジネス面での影響は今のところ限定的ですが、日中関係の停滞が長期化あるいは更に悪化するならば、両国間のビジネスにとっても大きなマイナスが出てくると思われます。

【今後の中国経済社会の見通し】



大連市副書記訪問

中国の高度成長の時代は終焉し成長の時代に入ったと言われています。確かに10%近くのGDP成長を続けることはやはり現実的ではなくなっています。しかし中国共産党大会での胡錦濤前総書記の報告では、2020年までに国民所得を倍増するという国家目標を打ち上げました。これは12次5カ年計画で定め



中国広州交易会

たGDP年平均7%成長を続ければ十分に達成可能であり、現実的な目標と見られています。少なくとも2020年までは、成熟した日本から見ると、十分と言える高成長が続くと思われます。一方で、改革開放30年の成果の陰で蓄積されてきた数々の問題、例えば共産党幹部や官僚の汚職・腐敗、貧富・地域の格差、社会不満への対応等に対して習近平新指導部は正面から向き合い、解決して行くことが求められています。新指導部は、この舵取りに失敗すると共産党統治の正当性が問われかねないと、強い危機感を持っており、これらの問題への対応を最優先課題

と位置付けています。

【中国の投資環境】

日本企業の対中直接投資は業種別に見ると製造業が6/7割を占めています。一方で、サービス業の進出は既に始まってはいるものの、これから本格化して行くと思われます。中国では近年、最低賃金の引き上げや労働法制の整備による労働者保護等により、低廉な労働力を活用した製造拠点としての魅力は薄れてきています。また、中国政府も産業構造の高度化、サービス産業化および地球環境への配慮等で、付加価値の低



日中韓打合せ

い加工組立型企業の進出はもはや歓迎せず、対中企業進出は転換点を迎えています。有望な分野としては、日本ならではの高度な技術力、経営・運営ノウハウ、おもてなしの心を基礎にした各種サービス業などは中国にはまだまだ不足しています。日本ではサービス産業を中心に中小企業がこれらを担っているケースも多く、最近では日本の中小企業への注目度が高まっています。中国の中小企業は企業数で見ると全体の99%以上を占め、日本の96%とほぼ同じ水準にあります。中小企業は基本的に民営企業ゆえに、国有企業と比べて様々なハンディを負っています。一方で、中国政府も産業構造転換に中小企業が果たす役割を重視し始めており、今後、中小企業を意識した政策など各種支援の充実が期待されます。中小企業にとっては中国でのビジネスチャンスが広がってくると考えられます。

【県内企業への示唆】

帝国データバンクの企業の海外進出調査によると、調査対象の中国進出日系企業1万4400社の中で鹿児島県内企業は16社と47都道府県の内でも少なくなっています。やはりまずは自分の目で見てみる事が

重要かと思えます。また、最近では「チャイナ＋1」の動きの中で、まだ労働者の賃金水準等も比較的低い新・新興国（カンボジア、ラオス、ミャンマーなど）が注目されています。確かにコスト面から見るとこれから新・新興国に優位性がありますが、一方で今後の賃金上昇圧力、未整備なインフラ、産業基盤が殆ど無いなどのリスクもあり、中国とこれら諸国の強みと弱みなど特徴を良く踏まえることが重要となります。中国は巨大市場としての魅力があると同時にリスクも大きいと言えます。従って、リスクをミニマイズし、リスクをマネージする意識が中国でのビジネス展開では特に重要になると思います。

◆セミナー等開催案内◆

「製造業アジア圏域販路開拓支援セミナー」

日時…3月6日（水）午後2時～
場所…鹿児島東急イン

（鹿児島市中央町5-1）

問い合わせ先

かごしま産業支援センター

Tel 219-11272

I 情報コーナー

今さらですが・・・

『企業における著作権』の再考

日本音楽著作権協会（JASRAC）は2012年11月5日に、2011年までの過去30年間で、カラオケや音楽配信などで徴収した著作権使用料の分配額が多かった国内作品のランキングを発表しました。1位は、槇原敬之さんが作詞作曲し、SMAPがヒットさせた「世界に一つだけの花」。2位は五木ひろしさんと木の実ナナさんの「居酒屋」、「ふたりの大阪」で、いずれもカラオケの定番曲として人気のデュエット曲となったことです。

このように、著作権の権利を所有していれば、一般には、50年間所有権を行使することができます。有名な作曲家や作詞家さんは、どれくらいの著作権料をもらっているのでしょうか。羨ましい限りですね。

羨ましがっていてもお金は入ってこないで、本題に移ります。

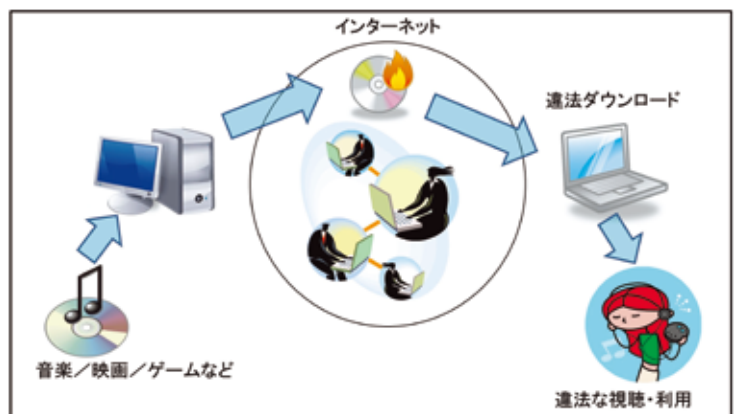
皆さんの企業でもパソコンなどのコンピュータ機器は必要不可欠なビジネスツールのはずです。その中で、パソコンに関する著作権侵害のお話が今回のテーマです。今回も、経営者の視点に立ってITかごしま支援隊が届けします。

〔2012年著作権法改正〕

2010年1月1日より、違法なインターネット配信による音楽・映像を違法と知りながらダウンロードすること（違法ダウンロード）は私的使用目的であっても権利侵害となりました。さらに、2012年の著作権法改正により、2012年10月1日からは、上記違法ダウンロードのうち、有償で提供等されている音楽・映像を、それと知りながらダウンロードする行為は刑事罰の対象となりました。

違法ダウンロード刑罰化に関しては、詳しいことが文化庁の「違法ダウンロードの刑罰化についてのQ&A」にまとめられていますので、時間のある時にでも目を通していただく事をお勧めします。URL: http://www.bunka.go.jp/chosakukendownload_ga/pdf/dl_ga_ver2.pdf

さて、皆さんの会社においては、今一度、Winnyなどのファイル交換ソフトを会社内のパソコンに入れているのかの確認をしておきましょう。もし、万が一、あなたの会社で違法ダウンロードが発覚した（マスコミ報道された）場合、企業信用度は確実に失われてしまいます。



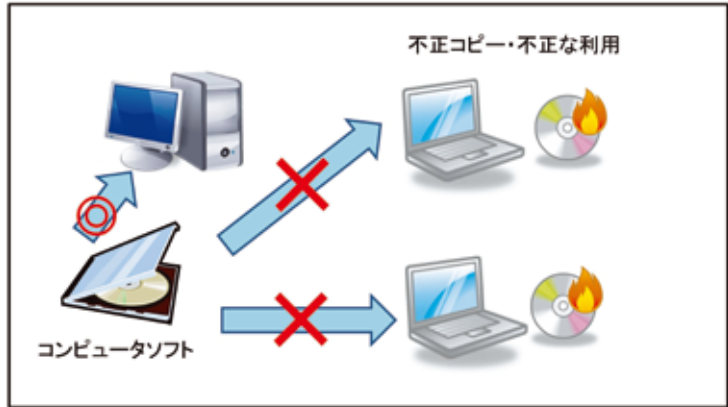
また、企業によっては、社員の個人所有パソコンを会社内で利用許可しているでしょうが、「ウイルスチェックの定期実施」と「ファイル交換ソフトを（実行していないではなく）インストールしていない」の確認はすべきでしょう。

パソコンソフトの違法コピー率が21%

例えば、会社の業務の中で、他社のホームページの画像をコピーして自社のホームページやパンフレット

に使用するとき、コンピュータのソフトを1つだけ買って複数のパソコンにインストールするといったことを行っていないですか？これらの行為は、著作権を侵害しています。著作権の侵害を行った場合、損害賠償等を請求される可能性や刑事罰が科せられる場合もあります。

BSA（ビジネス・ソフトウェア・アライアンス）の2011年調査によると、日本国内での違法コピーによる損害額は約1,500億円であ



り、使用されているすべてのPCソフトウェアに対する違法コピーの割合は、21%、つまり5本に1本は違法コピーのソフトが使われているという状況との事です。

さらに皆さんに知っていただきたい事実も紹介されています。それは、『全体平均に比べ「企業の意思決定者の方」が、違法コピーあるいは使用許諾を得ていないソフトを入手する傾向にある』という事実です。「企業の意思決定者」とは、業務上の重要な意思決定を行う権限を有する人物とのことです。企業の経営者／管理者のみならず、若い社員はあなたがたを見ているですよ。思い当たる節のある方は、模範となるべき態度をお願いします。

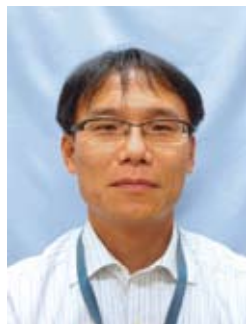
【著作権のまとめ】

「著作物を利用したら、著作権者にきちんと著作権使用料を払う」これだけ考えていけば問題ありません。企業から物品を仕入れたらお金を払うし、知り合いの企業の設備をちよつと使わせてもらったら何かのお礼をするのが基本（マナー）ですよ。決して自分だけが得をできる世の中ではないということです。難しく考えずに他社の何かを使うので

あれば、使用料が発生する、という考え方でよいのではないのでしょうか。



ひがし 東 中 益 男



て 樋 高 輝 志

プロフィール

資格：ITコーディネータ

所属：NPO法人ITかごしま支援隊

URL：<http://www.itshien.org>

TEL：080-3443-0812

E-mail：itksall@itshien.org

ITに関するご相談は、当センター総務情報課まで御連絡ください。

ご相談内容に応じて、専門の情報化アドバイザーやEC等活用アドバイザーが無料に対応いたします。

電話（099-219-1275）

FAX（099-219-1279）

URL <http://www.kric.or.jp>

Information

鹿児島県トライアル発注制度をご存じですか？

鹿児島県では、県内の中小企業等のみなさまが開発した優れた製品等の販路拡大を支援するため、県の機関が試験的に発注し、使用後の評価を行うトライアル発注制度を平成17年度から実施しています。

これまでに、シラス・竹関連製品、環境関連製品、農業関連製品、工事用部材など102製品等を選定し、県の機関や公共工事で使用してまいりました。県内で開発された優れた製品等の利用促進にご協力くださいますようよろしくお願いします。

なお、次回トライアル発注への応募を希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

【平成24年度トライアル発注製品等】

製品等名	企業名	所在地	電話番号	使用する県の機関
薩摩秋草広口急須（深蒸し茶用）、湯飲み、湯冷ましセット	(有)荒木陶窯	日置市	099-274-2733	農産園芸課、商工政策課 かごしまPR課
蛍光灯代替LED照明エコノライトFL	(株)エルム	南さつま市	0993-53-6930	南薩教育事務所 薩摩川内警察署
高演色LED照明（Ra90） （エコLight イズミ Ra90 240W屋内灯）	交和電気産業 (株)鹿児島工場	出水市	0996-82-5110	日置警察署
大光量LED照明屋外用 320W （エコLight イズミ 320W投光器）	交和電気産業 (株)鹿児島工場	出水市	0996-82-5110	出水警察署
LEDスタンドライト	国分電機(株)	霧島市	0995-47-3311	情報政策課、宝山ホール 南大隅高等学校 高速道路交通警察隊
切り花延命剤 「miz-miz 花の活性水」	(株)しか屋	鹿児島市	099-262-0710	農業開発総合センター
アダプターテーブル （リハビリ用訓練補助テーブル）	メイワ医科工業(株)	鹿児島市	099-261-1123	こども総合療育センター
フラクタルパラソル “こもれび”	(株)ロスフィー	鹿児島市	099-259-5555	宝山ホール
薩摩シラスの「みなみの風」 （左官壁材）	豊和直(株)	鹿児島市	099-295-2988	建築課住宅政策室

【過去5年間の実施状況】

年 度	応 募 数	選定製品数	内 訳	
			備品・消耗品等	工事用部材
20	37	12	9	3
21	30	10	5	5
22	28	13	11	3
23	25	12	11	1
24	29	9	8	1

※平成22年度は、「備品・消耗品等」と「工事用部材」に重複があるため、選定製品数と内訳は一致しません。

※詳しくは、県ホームページに掲載していますので下記URLをご覧ください。

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/syoko/trial/index.html>

【問い合わせ先】

鹿児島県商工労働水産部産業立地課

TEL：099-286-2964 FAX：099-286-5578 E-mail：sangyo@pref.kagoshima.lg.jp



Information

平成 25 年度研究開発事業及びかごしま産業おこし挑戦事業の募集概要

○募集期間：4月上旬～5月中旬

詳細は、かごしま産業支援センターのホームページ (<http://www.kric.or.jp>) に3月末掲載予定

【研究開発事業等】

事業名	事業内容	募集対象	事業期間	助成率	助成額
① 研究開発助成事業	研究開発型企業等が行う、新技術・新製品等の開発・試作に要する経費の一部を助成	県内中小企業	単年度	対象経費の2/3以内	300万円以内
② 地域技術起業化助成事業	地域の4社以上の中小企業者等のグループが行う、新技術または新製品の起業化に要する経費の一部を助成	県内中小企業	単年度	対象経費の8/10以内	300万円以内
③ 重点業種研究開発支援事業(県から委託)	自動車、電子、新成長分野関連産業(環境・エネルギー産業、健康・医療産業、バイオ関連産業)に関する新技術、新製品の開発に要する経費の一部を助成	県内中小企業	2年度以内	対象経費の2/3以内	400万円以内/年
④ 事業化研究会支援事業	大学等の研究シーズをもとに、その事業化を目指す産学官の連携による研究会に要する経費の一部を助成	県内中小企業と、大学や公設研究機関等	単年度	対象経費の2/3以内	10万円以内

【かごしま産業おこし挑戦事業】

⑤ 中核的企業創出プログラム事業	自動車、電子、食品、成長産業関連の技術シーズ等を有するか、若しくはその市場に新たに参入する意思を持つ中小企業者等に対して、中核的企業としての創出に必要な各種事業の実施に要する経費を助成。	県内中小企業	5年度以内	対象経費の2/3以内	950万円以内
⑥ 地域資源活用起業家支援事業	地域資源を活用し、起業を目指す個人等に対して、起業に向けた事業展開及び研究開発、試作品開発、販路開拓等の経費を助成。	起業を目指す個人等	2年度以内	対象経費の2/3以内	300万円/年以内
⑦ 地域資源活用・農商工等連携新事業創出支援事業	地域資源を活用して事業化を行おうとする中小企業者等、若しくは、鹿児島県内における農商工等連携の促進に資する取組に対して経費を助成。	県内中小企業者、若しくは、中小企業者と農林漁業者との連携体	2年度以内	対象経費の2/3以内	300万円/年以内
⑧ 新事業参入調査支援事業	新分野、新市場への参入、研究開発実施に係る事前調査及び製品企画に要する経費を助成。	県内中小企業	単年度	対象経費の2/3以内	30万円以内
⑨ 新市場開拓調査支援事業	製品の市場開拓を図るため実施する展示会への出展及び展示会での市場調査(アンケート)に要する経費を助成。	県内中小企業	単年度	対象経費の2/3以内	30万円以内(国外50万円以内)

お問い合わせ先

公益財団法人かごしま産業支援センター

産学官連携課 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-40 (鹿児島大学産学官連携推進センター)

経営支援室・新産業育成課 〒 892-0821 鹿児島市名山町9-1 URL : <http://www.kric.or.jp>

①～④の事業 産学官連携課 TEL:099-214-4770 E-mail:sangaku@kric.or.jp

⑤の事業 経営支援室 TEL:099-219-1273 E-mail:keiei@kric.or.jp

⑥～⑨の事業 新産業育成課 TEL:099-219-1272 E-mail:ikusei@kric.or.jp

Information

『平成 24 年度 かごしま取引商談会』を開催



開催日	平成24年10月16日(火)
場所	ホテルウェルビューかごしま(鹿児島市)
主催者	ビジネスマッチング協議会 かごしま産業支援センター
発注企業	29社(うち県内企業 3社)
受注企業	69社(うち県内企業69社)
取引成立	20件(平成24年12月末)

県内中小企業の受注機会の拡大と新規取引先の開拓を目的として「かごしま取引商談会」を各企業が参加し易い気候の良い秋に開催しました。発注企業29社のうち24社が初めての参加で、本県企業への関心の高さが窺えました。当日は限られた面談時間の中で活発な商談が行われ、その後の交流懇談会では和やかな雰囲気の中、相互の親睦を深め熱心に情報交換をする様子が見受けられました。

また、発注企業の中には、商談会の翌日、面談企業を訪問し工場見学をするなど積極的な姿勢も見られ、平成24年12月末において20件の商談が成立し新たな取引が開始されました。

『平成 24 年度 九州7県合同緊急広域商談会』を開催



開催日	平成24年12月4日(火)
場所	大田区産業プラザ(東京都大田区)
主催者	(財)全国中小企業取引振興協会 九州7県支援機関
発注企業	32社(33ブース)
受注企業	87社(うち鹿児島県企業14社)
商談数	25分間・個別面談 合計261面談

「平成24年度 九州7県合同緊急広域商談会」を九州合同としては初めて関東圏で開催しました。

新たなパートナーを探している東日本地区の発注企業と九州7県の中小企業との間で、具体的な商談が活発に行われました。

本県から14社の受注企業が参加し、積極的な技術PRを行う様子が見受けられ、今後の取引拡大が期待されます。

◆発注情報

*九州合同発注開拓調査(2回目)で発注申し込みがあった一部を掲載しました。

なお、お手元に届くまでにあっせん済みになっている場合もありますので、その際はご了承をお願いいたします。

No.	所在地	主要製品	発注品	数量	発注条件	
					必要設備	材料
1	鹿屋市	超硬部品, 精密治工具, 順送プレス金型, 金型部品	単品部品, 非鉄金属切削加工, 鋼焼入れ前下加工	1ヶ~	マシニングセンター NC旋盤 他	SUS, AL, SK, SKS, 45C, SKD
2	志布志市	繊維加工品	ニット縫製加工, ジャケット, 長パンツ	500	ミシン	ニット生地

【お問い合わせ先】 取引振興課 TEL: 099-219-1274 FAX: 099-219-1279

E-MAIL: torihiki@kric.or.jp

情報 KISC WINTER

発行者: 公益財団法人かごしま産業支援センター

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)

FAX 099-219-1279

E-mail kisc@kric.or.jp

URL <http://www.kric.or.jp>